

# 平成30年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部  
文化スポーツ課

施設名	弘前市運動公園、弘前市克雪トレーニングセンター
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体力づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため設置したものである。
所在地	弘前市大字豊田二丁目3番地
指定管理者名	公益財団法人弘前市体育協会
指定期間	平成26年4月1日から令和6年3月31日まで
<p><b>1 事業計画の実施状況</b></p> <p>施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。</p> <p>施設の維持管理については、職員間の情報共有や他指定管理施設との連携により適正な管理運営を実施している。</p>	
<p><b>2 自主事業の実施状況</b></p> <p>克雪トレでは、引き続き恒例開催となっている、グラウンドゴルフ大会(2月)、足が速くなる教室(5月)、中3野球教室(9~12月)を実施し、新規で小中学生・ゴールデンエイジを対象に体力・競技力向上を目指したフィジカルトレーニング教室を実施した。運動公園においても、引き続き陸上競技場室内走路を無料開放、好評をいただいている桜のせん定枝の無料配布を行うとともに、テニス用品・スポーツドリンク・氷・カイロ等の販売、利用者ニーズに合った自動販売機の設置を検討し、利便性の向上を図った。また、有効な施設利活用を目指したフィールドナイトヨガ(6~7月)、バッティングセンター(4・10月)、冬期間に球場内諸室を利用したフィットネス教室(11月~3月)を行うとともに、弘前デザインウィークとの「冬の球場アート」(2月)開催に合わせ、Happyメッセージ・Enjoyバナナボードを実施した。さらには、継続的なプロ野球招致を目指し、プロ野球イースタン戦(8月)を実施するとともに、はるか夢球場の防災拠点としての周知を図る防災フェスタ(4月)を実施した。</p>	
<p><b>3 市民サービス向上のための取組状況</b></p> <p>安全管理に関するものや事業・サービス提供等に関する会議・研修に積極的に参加し、管理体制の強化とサービス向上に努めている。パンフレット、月間予定表、ホームページ、SNS(Facebook)、館内掲示物を随時更新し、情報提供に努めている。</p>	
<p><b>4 市民ニーズの把握の実施状況</b></p> <p>ご意見箱、ホームページでのお客様の声、SNS(Facebook)、での問い合わせなどを行い把握に努め、また、期間を定めた集中アンケートの実施や自主事業実施の際にアンケート用紙を配布し、意見収集を行い、市民ニーズの把握に努めている。</p>	
<p><b>5 施設の利用状況(利用者数、稼働率など)</b></p> <p>利用団体数9,079件(前年比110.7%)、利用人数368,156人(前年比90%)、使用料1,909,755円(前年比103.9%) 野球場は高校野球の実数申告に伴う利用人数の減となったが、天候に左右されない屋内ブルペンが周知され利用増の傾向にある。庭球場・球技場・運動広場は、前年比でほぼ横ばい。陸上競技場は東北・全国大会の取扱条例の変更により使用料免除該当の貸出が多くなり、いずれの項目も減少した。克雪トレーニングセンターは、運動公園屋内ブルペンの利用増により投球練習場の利用が減少したものの、トレーニング室の利用が増加しており件数・人数は若干増加した。</p>	

## 6 指定管理業務の収支状況

再委託業務仕様内容の変更(必要度の査定及び近似業務の統一化)、計画的な修繕実施計画、計画的な経費執行等により適正な事務処理が行われている。ただし、最低賃金アップによる人件費(再委託業務も含む)の増加により、支出負担が増加している。

## 7 実地調査の結果

自主事業の積極的な取り組みや、施設の維持管理・運営は概ね適正に実施されている。

## 8 成果指標の達成度

利用件数:目標 8,938件 実績 9,061件 達成度101%  
利用人数:目標 273,585件 実績 348,239件 達成度127%

## 9 評価

### (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	従来の維持管理の水準を維持した上で、利用者の安全管理、サービス提供をおおよそ実施することが出来たため。	使用料の取り扱い等についてコンプライアンスを徹底させるための職員研修を実施し、定期的な内部会計監査を実施したが、今後も継続的な実施が必要である。
施設の管理	B	利用者の安全を第一に緊急時(災害)対策に努めるとともに、個人情報・文書・備品等の管理を実施した。また、指定管理料の範囲内で施設の維持管理を実施できた。	より効率的な計画の実施と職員の管理業務の能力向上が必要である。
経理の状況	C	指定管理料の長期的な執行計画を基に適正に執行に努めたが、最賃改定による人件費のベースアップに対応できない。	人件費に加え、施設の老朽化に伴い、指定管理料の範囲内での大型修繕の執行計画が必要である。
団体の財務状況	B	指定管理料及び収益事業を適正に管理し予算範囲内で財務状況を維持できたため。	組織全体のより具体的な長期的財務執行計画の構築が必要である。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	適正な施設運営や自主事業の開催を行っている。	職員の資質向上と利用者ニーズの把握を図り、適正な施設運営と地域に密着した自主事業の展開などに期待する。
施設の管理	B	快適な施設環境作りと安全対策や緊急時対策を図っており、また個人情報や文書や文書等の管理も適切に管理している。	長期的な視点での施設備品類の老朽化に伴う安全管理を進めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整備・保管について、概ね適正に実施している。	最低賃金改定による人件費見直しの検討及び自主事業等による収入増の工夫が必要である。
団体の財務状況	B	自主事業等による収益もあり、安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

**【評価の基準】**

<b>A</b>	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
<b>B</b>	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
<b>C</b>	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
<b>D</b>	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

## ※「団体の財務状況」の評価基準□

<b>B</b>	問題がない
<b>C</b>	今後に注意を要する
<b>D</b>	早急な改善を要する